

## 全校集会

- 皆さん、おはようございます。2年生の皆さんは、先週の『ビジネスコンテスト』は、各班とも本当に素晴らしい発表がありました。今回は『社会課題』というテーマでしたが、課題解決に向けてみんなで意見を出し合い、その結果をアウトプットしていく良い経験であったと思います。
- また、1年生の皆さんは、今週の金曜日に6社の企業担当者からお話を聞く『職業講話』が予定されています。自分の将来の職業・進路について考える良い機会となればと思います。
- また、3年生は、いよいよ来週が私立高校の入学試験となりました。ここまでくれば、体調を整えることを第一に考え、本番で全力が発揮できることを祈っています。
- さて、次の日曜日には、『第51回衆議院議員総選挙』が行われます。ニュースや新聞では毎日必ず取り上げられ、街では選挙カーが走ったり、駅前で演説したりしている姿など目にした人も多いと思います。
- 皆さんは、中学生なので選挙権はありませんが、18歳になれば選挙権が与えられます。以前は20歳でしたが、2015年の公職選挙法が改正され、2016年の参議院選挙ではじめて18歳・19歳の人が投票することになりました。
- 18歳と言えば、高校三年生の年齢で選挙権が与えられるので、中学3年生の皆さんにとっては、本当に近い将来ということになります。
- 世界的にも、選挙権は18歳からの国がほとんどで、つまり、18歳が大人として社会の決定に参加する年齢と考えられていることになります(オーストリア・ブラジル・アルゼンチンなどは16歳という国もあります)。
- 中学生になれば、生徒議会や委員会での話し合いや学級においても話し合って決めることが多くなってきていると思います。
- その時に、自分と意見や思いの違う人がいると思います。これは、集団で生活している以上は当然のことですが、どのようにしていくことが学校全体として・学年・学級として良いのかをまずは話し合うことが大切です。
- 例えば、力の強い人や声の大きな人だけの意見で物事を決めてしまうようなことになつては不公平感が生まれます。
- 『民主主義』の考え方は、みんなで話し合って決めたことは、自分の思いや考えと違ったとしても決まったことは尊重していくという姿勢が大切です。
- 国の選挙は、1憶人くらいが選挙権を持っていますので、一人ひとり意見を言ってもまとまらないので、自分の考え方や思いと同じにする議員に投票して、選挙で選ばれたら議員の皆さんがあなたの意見を述べてもらうということになっています。
- 皆さんは今、学校という小さな社会の中で、自分の意見を持って、話し合い、そして決まったことは守つていく『民主主義』の根本を学んでほしいと思います。